

琉球弧を戦場にするな 2025

拝啓 住民投票さま

～石垣島のまんなかで起きたこと～

手元資料

- 日時：2025年6月28日（土）
13：30～16：30
- 会場：文京区民センター 3A会議室
- プログラム
- 13：40～14：15 『琉球弧を戦場にするな2025』（35分）
- 14：15～14：30 休憩
- 14：30～15：15 『拝啓 住民投票さま 石垣島のまんなかで起きたこと』（46分）
- 15：15～16：30 トークシェア
(湯本雅典監督のお話&質疑など)

■手元資料 目次

- 資料① 映画『琉球弧を戦場にするな 2025』について P.2
- 資料② 映画『琉球弧を戦場にするな2025』採録シナリオ (テスト版) P.3～P.5
- 資料③ 映画『拝啓 住民投票さま 石垣島のまんなかで起きたこと』について P.6
- 資料④ 映画『拝啓 住民投票さま 石垣島のまんなかで起きたこと』採録シナリオ (テスト版) P.7～P.12
- 資料⑤ 第81回憲法を考える映画 憲法映画祭2025 (2025/4/29) 参加者感想から P.13～P.15
- 資料⑥ 憲法を考える映画の会 あとおいニュース P.16

*資料③と資料④の二つの作品の「採録シナリオ」につきまして、それぞれ制作された方の了解をいただき、私たちが作らせていただきました。ただ、DVDからの書き起こし（聴き取り）なものですから、いくつか聴き取れなかったところや文字の間違い、不明なところなどもあります。今回の掲載は「テスト版」としてさらに完成版をめざし、映画を見る方の理解に役立てられるものになればと思っております。お気づきの所ありましたらお知らせください。

第82回 憲法を考える映画の会
「琉球弧を戦場にするな 2025」
「拝啓 住民投票さま
石垣島のまんなかで起きたこと」

2025年 6月28日（土）
13時30分～16時30分
文京区民センター 3A会議室
(地下鉄 有田駅 2分・後楽園駅 5分)

■プログラム
13：30～13：40 この映画について
13：40～14：15 『琉球弧を戦場にするな 2025』（35分）
14：15～14：30 休憩
14：30～15：15 『拝啓 住民投票さま 石垣島のまんなかで起きたこと』（46分）
15：15～16：30 トークシェア
(湯本雅典監督のお話&質疑など)

■参加費：一般 1000円 学生 無料
(会場での定員は少ないです。予約不要で、どなたでも参加できます。)

(このプログラムで考えたいこと)
今、沖縄で何が起きているのか。
沖縄の事情は、多くを知られていません。暮々と進められている。
それは、我々市民、国政議員、三権分立の憲法の原則を崩し、
私たちの未来を破壊する形で押し進められる。

「琉球弧を戦場にするな 2025」
『琉球弧を戦場にするな』から1年、2025年の明後期を伝える『琉球弧を戦場にするな 2025』ができました。
日本共産党国政調査「アイアン・フィスト25」の採子、沖縄県議員の採録シナリオと採録、菅直人の採子と採録の採録、石垣県民日報の採録での採録の採録「キーン・ソード25」の採子を採録しました。
採録の採録から採録を受け、育てられてきた地上自衛隊水陸両用部隊は、自衛隊水陸両用部隊と自衛隊水陸両用部隊を兼ねたため、琉球弧で訓練を続けています。
日本の軍事訓練も採録することなく、企画で採録されています。
北米の地上自衛隊水陸両用部隊では、クラウドで採録が行われているハイマースを採録して、自衛隊水陸両用部隊が採録の採録を行っています。
琉球弧の島々の軍事化はとどまることを知りません。日本の軍事の採録も、いよいよその形勢へと向かっています。
大学メディアが採録しないなら、どうか皆さんが「採録する人」になって下さい
(2025年5月完成/35分/新山あさ子・湯本雅典監督作品)

「拝啓 住民投票 さま 石垣島のまんなかで起きたこと」
2018年10月、人口5万人の沖縄県石垣島で平成の大規模（ひらえおおまか）選挙への地上自衛隊水陸両用部隊の採録を採録する採録が始まりました。
それは、1分間で自衛隊の採録の3分の1を採録する採録に採録した。
そのことは自衛隊の「自治基本条例」に定められた「有権者の4分の1以上の採録を採録すれば、市長は所定の採録を採録して住民投票を行わなければならない」という採録を採録して採録した。
しかし、市長は住民投票を採録して採録した。
採録して採録したが、市の採録が正しいという採録を採録して採録した。
6年に及ぶ採録は2024年11月27日「石垣市住民投票を求める会」の採録会にて一部の採録を採録した。
採録会にて採録会にて採録した採録は「拝啓 住民投票 さま」を採録した。
それは、私たちの採録した採録の採録でも採録した。
(2025年5月完成/46分/湯本雅典監督作品)

憲法を考える映画の会



〒185-0024
東京都国分寺市泉町3-5-6-303
TEL & FAX : 042-406-0502
HP : <http://kenpou-eiga.com/>
E-mail : hanasaki33@me.com

資料① 映画『琉球弧を戦場にするな 2025』について

【映画の解説】

前作『琉球弧を戦場にするな』から1年、2025年の現段階を伝える『琉球弧を戦場にするな 2025』ができました。

日米共同実動訓練「アイアン・フィスト25」の様子、沖縄県国民保護計画図上訓練、宮古島への電子線部隊車輛搬入、北海道矢白別演習場での日米共同訓練「キーン・ソード25」の様子を収録しました。

米海兵隊から訓練を受け、育てられてきた陸上自衛隊水陸機動団は、離島奪還作戦、海兵隊とともに水陸両用戦を戦うために、琉球弧で訓練を続けています。

有事の際に島々の住民の避難は、義務とされています。沖縄島は屋外避難、宮古・八重山の住民は県外避難とし、6日間で12万人を九州と山口県に避難させるための訓練が、沖縄県で続けられています。

軍事施設の拡張も続き、宮古島では電子戦部隊が配備されました。住民、宮古島市、宮古島市議会から求められていた説明会の開催も拒否し、電子戦部隊の車輛搬入が始まりました。

日米の軍事訓練も休むことなく、全国で続けられています。北海道の陸上自衛隊矢白別演習場では、ウクライナでも使われているハイマースを使って、陸自と米海兵隊が実弾射撃演習を行っています。

琉球弧の島々の軍事化はとどまることを知りません。日米の軍事的一体化も、いよいよその完成形へと向かっています。

大手メディアが伝えないなら、どうか皆さんが「伝える人」になって下さい。

【「琉球弧を戦場にするな 2025」の内容】

日米共同実動訓練 アイアン・フィスト25 (2025年2月19日～3月7日)

陸上自衛隊、海上自衛隊、米海兵隊、米海軍から4000名が参加し、長崎、熊本、鹿児島、沖縄で行われた「アイアン・フィスト25」。沖縄島・金武湾沖-ビーチ訓練場では、3月1日に着上陸訓練が行われた。

【陸上自衛隊水陸機動団長 北島一陸将補】

「今や自衛隊と海兵隊は最高レベルの相互運用性、共同作戦能力を有する」（訓練開始式の訓示）

【米海兵隊第3海兵遠征旅団司令官 トレバー・ホール准将】

「作戦実施可能性が高い場所で、作戦に携わる部隊が行う訓練が、最も効果的である」（着上陸訓練後の記者会見）



沖縄県国民保護共同図上訓練 (2025年1月30日 沖縄県庁)

沖縄県国民保護共同図上訓練が2025年1月30日に行われた。

沖縄本島は屋内避難、先島諸島は県外避難。

国、沖縄県、県外避難とされる5市町村、航空会社、海運会社などが参加した。

石垣市、武富町、与那国町、宮古島市、多良間村の合計12万人を6日間で九州と山口県に避難させるというが・・・

【玉城デニー沖縄県知事】

「万が一の場合に備えて国民保護に関する対処能力の向上を図ることは重要」



宮古島への電子線部隊車輛の搬入 (2025年3月26日)

島々での軍備拡大が止まらない。宮古島には電子線部隊が配備された。新たな部隊配備に対し、住民、宮古島市長、市議会がくり返し説明を求めたが、防衛局は応じない。搬入されようとする電子戦部隊の車輛の前に、住民達が立ちふさがる。

【中里成繁さん(宮古島住民)】「住民の意思を無視して、陸自基地が開設されて6年目。これ以上の施設の拡大はないと言っていた。電子戦部隊の車輛を止めて配備を止める」

【上原正光さん(石垣島住民)】「石垣島で駐屯地が開設されて丸2年。2周年ではなく二周年忌。駐屯地の中に弾薬庫が4つ完成。射撃訓練場建設が突貫工事で進められている。基地がさらに拡張されようとしている」

【照屋寛之さん(沖縄島住民)】「宮古を守ると言っ自衛隊が入ってきて、基地をつくった後は住民は出て行くと。出ていくべきは自衛隊。自衛隊が出ていけば、こっちは平和な島だよ。あんたたちが出ていけ。あんたたちが出ていけば誰も避難せんでいい」

【清水早子さん(宮古島住民)】「むざむざと戦場になることで死にませんよ、私たちは。ひとたびこの島が戦場になったら、全滅だよ。私たちは戦争を止めることに、命をかけているんだよ」

「電子戦部隊は有事の際に電磁波を使って敵の電波を攪乱、妨害する部隊。戦争状態をつくり出す、戦争状態が生まれることを前提に配備される。敵の攻撃がなくても、妨害、攪乱は可能」

【上里清美さん(宮古島住民)】「私たちが九州、山口県に逃がすと。お家も学校も。畑も仕事も何もかも捨てて、荷物ひとつで逃げなさい、そして一ヶ月だけは面倒見ると。その後は自分で何とかして下さいって言うのが、「国民保護計画」

日米共同統合演習キーンソード25 (2024年10月24日 北海道)

日米共同訓練は、日本全国で日々行われている。国内最大の自衛隊演習場、陸上自衛隊矢白別演習場では1997年から毎年、米海兵隊の移転訓練が行われてきた。

2004年の「キーン・ソード25」は自衛隊と米軍併せて4万5千人が参加し、日本各地で演習が行われた。矢白別演習場では米陸軍、米海兵隊、陸上自衛隊が実弾射撃演習を行った。

【製作スタッフ】

監督：藤本幸久 影山あさ子

撮影：中井信介 小寺卓矢

製作・著作：森の映画社

2025年5月完成／35分／ドキュメンタリー

【DVDの購入及び上映の問合せ】

森の映画社札幌編集室

・morinoeigasha@gmail.com

・電話・FAX: 011-206-4570

・〒004-0004北海道札幌市厚別東4条8丁目17-12 2F

・DVD定価：5000円(上映権付き)

メインタイトル 『琉球弧を戦場に作るな2025』

タイトル① 日米共同実動訓練 アイアン・フィスト25

(2025年2月19日～3月7日)

〈陸上自衛隊・海上自衛隊・米海兵隊・米海軍から4000名が参加し、長崎、熊本、鹿児島、沖縄で行われた〉

タイトル② アイアン・フィスト25開始式 2025年2月19日 沖縄島 キャンプ・ハンセン

・日米の国旗を持つ兵隊たち

陸上自衛隊水陸機動団長 北島一陸将補「本アイアン・フィストは2006年、アメリカ西海岸において、我々の前身、西部方面普通科連隊と米海兵隊との共同訓練として開始された。そして、アイアン・フィストを通じ、陸上自衛隊は海兵隊から水陸両用戦について多くを学んできた。これまで18回を数えるアイアン・フィスト訓練の積み重ねにより、今や自衛隊と海兵隊は最高レベルの総合運用性、共同作戦能力を有するに至った。」

米海兵隊第3海兵遠征旅団司令官 トレバー・ホール准将

〈この統合実動訓練は、我々の共同作戦能力を明確に示す。訓練内容は領域横断作戦、前進遠征基地作戦 (EABO)、海上作戦の支援である。全インド・太平洋地域に迅速に展開し対処する能力のいっそうの強化を図るものである。〉

・「IRON FIST25」のパネルを前にしての記念撮影

タイトル③ アイアン・フィスト25 着上陸訓練

2025年3月1日 沖縄島ブルービーチ訓練場 (金武町)

〈沖縄島金武湾〉

軍用ヘリ

〈陸上自衛隊水陸機動団〉上陸用舟艇 (ボートの列12艘)

上陸して銃を構える

〈米海兵隊〉銃を構え、ねらいを定める米海兵隊員

〈陸上自衛隊水陸機動団〉海の中を進む上陸用舟艇 (装甲艇?) / ノバークラフト様舟艇 (壁面の海上自衛隊の文字と旭日旗)

〈英仏独豪比 5カ国の将兵が訓練を視察〉 / 〈フィリピン海軍海兵隊員〉腕章 / イギリス海兵隊コマンド部隊員

〈米海軍揚陸艇〉上陸するトラック

陸上自衛隊水陸機動団長 北島一陸将補「今まさに我々には日米共同の抑止力、対処力を評価することが求められています。自衛隊、米海兵隊、米海軍の参加を得て本共同訓練を実施することは、日本の平和を守るため、きわめて意義深いものと認識しています。」

本日は日米共同による着上陸の場面をご覧いただきましたが、引き続き着上陸後の陸上戦闘をえんでん(?)し、日米の連携、共同対処能力の向上を図って参りたいと考えております。」

米海兵隊第3海兵遠征旅団司令官 トレバー・ホール准将

〈アイアン・フィストのごく一部をご覧いただいたが、陸上自衛隊、海上自衛隊、米海兵隊、米海軍の入念な計画と訓練リハーサルの賜物です。〉

タイトル④ 日米共同訓練「アイアン・フィスト」

〈2002年 水陸機動団の前身 陸上自衛隊西部方面普通科連隊発足〉

〈2006年 米軍再編で、日米の軍事的一体化合意。米国西海岸で実施される上陸演習「アイアン・フィスト」に西部方面普通科連隊が初参加、以降毎年参加〉

〈2018年 陸上時瑛太水陸機動団発足〉

〈2023年 「アイアン・フィスト」を日本で実施〉



陸上自衛隊水陸機動団長 北島一陸将補 (長年のアイアン・フィスト訓練で得たものは?)

「『アイアン・フィスト』が開始されたのは、2006年、我々の前身に当たる西部方面普通科連隊が参加しましたが、アメリカ海兵隊から、水陸両用作戦に必要な基礎的な技術を学ぶところからスタートしました。当初は演習規模も日米合わせ200名ほどでした。その後アイアン・フィストの内容も、内容・規模ともに年を追うごとに充実し、また2018年には本格的な水陸両用作戦を行うことのできる水陸機動団が新編され、アイアン・フィスト等の訓練を通じ、錬成を重ねて参りました。」

いまや水陸機動団の水陸共同作戦能力は、高いレベルに達したものと自負しています。また海兵隊との総合運用性も、アメリカ海兵隊と十分に、ともに作戦を遂行できるレベルにあると認識しております。」

米海兵隊第3海兵遠征旅団司令官 トレバー・ホール准将

〈アイアン・フィスト25では無人システムを運用している。自立型及び無人システムは状況把握、部隊の防護、作戦行動範囲の拡大に寄与する技術の進歩に見合う戦術、戦技、手順の進化も必要だ。〉

アイアン・フィストは新たな技術と手順を統合し、全体の対処能力を高める機会となる。〉

陸上自衛隊水陸機動団長 北島一陸将補 (この地域で訓練

を行う意義は?) 「アイアン・フィストは2022年までアメリカ・カリフォルニア州において同地域に所在する第1海兵機動展開部隊との共同訓練として実施して参りましたが、2023年から実施場所が日本国内に移り、我々の共同相手も第3海兵機動旅団、そして第3海兵機動展開部隊となりました。第3海兵機動展開部隊とともに本訓練を行うことは、より運用に直結した実質的な訓練を行うという観点から意義深いものと認識しています。」

米海兵隊第3海兵遠征旅団司令官 トレバー・ホール准将

〈作戦の実施可能性が高い場所で、作戦に携わる部隊が行う訓練の効果は最も高い。両国の部隊を同じ場所に集めることで訓練の内容も規模も拡大した。我々の共同対処能力で、この地域全域に抑止をもたらす。〉

・握手する両軍将校



タイトル⑤ 沖縄県国民保護共同図上訓練 2025年1月30日 沖縄県庁

〈参加者: 沖縄県。宮古島市、多良間村、石垣市、竹富町、与那国町。内閣官房、消防庁、国土交通省沖縄総合事務局。沖縄県警察、海上保安庁、防衛省、自衛隊、農水省、環境省。〉

航空会社 (ANA/ソラシドエアー/スカイマーク/JTA/RAC/JAL) 海運会社 (マルエーフェリー) など

玉城デニー 沖縄県知事「沖縄県国民保護共同図上訓練の実施に当たり御挨拶を申し上げます。」

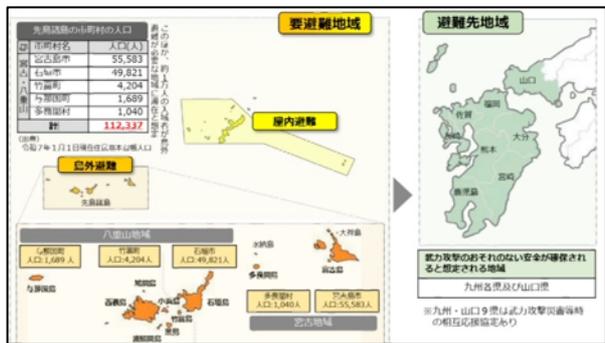
本年、令和7年は戦後80年の節目の年となります。これまでの歴史を振り返り、先の大戦の犠牲者を追悼するとともに平和で豊かな沖縄を描く取り組みが肝要だと考えております。沖縄県としましては国際情勢の厳しさが増し、なお複雑化していく中、引き続き政府に対し、平和的な外交、対話による緊張緩和と信頼情勢の取り組みを求めてまいります。一方、特定の事態を想定したものではありませんが、万が一の場合に備えて国民保護に関する対処能力の向上を図ることは重要であると考えております。」

溜政仁 沖縄県知事公室長「本訓練の想定としましては、我が国周辺の情勢悪化に伴い、政府は万が一の事態に備え、沖縄県全域を要避難地域とし、沖縄本島は屋内避難、先島諸島の5市町村は県外避難とし、九州各県および山口県を避難地域にそれぞれ指定する可能性がある」と判断している状況です。また県は沖縄県危機管理対策本部を設置し、先島諸島市町村及び関係機関と避難に関する各種調整を開始する、というものになります。

タイトル⑥ 訓練の仮定する状況

〈わが国周辺の情勢が悪化／政府は、先島諸島の住民避難の準備を沖縄県に依頼／県は、沖縄県危機管理対策本部を設置し避難に関する調整を開始〉

- ・地図〈要避難地域と避難先地域〉
 - ・表〈避難元市町村＝経由空港と避難先県〉
- 内閣官房事態室「住民の皆様の安全かつ円滑な避難のため、関係自治体や指定公共機関、または指定地方公共機関である民間運送事業者などとも連携調整を図って行っているところです」
- ・図〈輸送力の確保 (令和7年1月の確保イメージ) 〉



沖縄県の説明「輸送力の最大化について各空港の救出スポット (?) の最大限の活用や船舶の臨時てんいん (?) の調整等により平時の2倍を超える1日20000人の島外輸送力を確保出来る見込みで、さんげんさん (?) で10万人の住民が6日間で九州に避難する輸送力が確保できる見込みです。」

与那国町の報告「与那国町の避難実施の概要について、県の避難方針に基づき、町は全住民及び滞在者などについて別に定める日時から避難を開始するとする。県と調整し割り当てを受けた航空機等をもって要配慮 (?) 諸島の避難を優先的にを行い全住民が概ね1日で島外に避難するとしています。」

・地図〈島外輸送計画 (航空機) の概要 (案) 〉

本町は県が調整し、確保した航空機の運航ダイヤに基づき、直接九州地区への避難となります。与那国空港で運用可能な最大機B738を1日11便、通常機定員165名を4機、ストレッチャー付き定員157名を2機、1700名以上の最大輸送力を確保し、与那国空港から福岡空港へ130分で避難する計画としています。平素の島内輸送力ですが、町内には民間会社保有のバス、大型中型合わせて4台、町保有のバスが2台あり、1回あたり最大輸送力は189名となっています。」

竹富町の報告「資料 2ページは竹富町の避難実施要領案の概要となります。一般的な方針の全住民が2日間で各島から石垣島を経由して県外に避難する受け入れ先を長崎県にした想定で検討し2日間での移動については内容を変更しております。」

石垣市の報告「住民は小学校区単位で指定された一時集合場所へ原則徒歩で集合し、一時集合場所からJHTC (住民避難登録センター) までバスで移動、JHTCから新石垣空港までバスで移動することを検討しております。」

多良間村の報告「住民の負担を考慮し、移動時間が短い航空機での避難となっており、2日で全住民が九州へ避難を行う方法や避難順序、役場職員、関係機関の役割等を示した避難計画となっております。」

地図〈多良間村の避難実施要領〉

本村は離島の離島であるため、住民の負担を考慮し、移動時間が短い航空機を可能な限り活用する方針とします。船舶については航空機での避難が困難な要配慮者およびその支援者、ペット同行避難者などを想定しております。航空機での避難の場合は宮古空港で乗り換え、宮古島市と協議した上でダイヤに沿って県外へ避難、船舶避難の場合は、平良港到着後、宮古島市での一時避難場所はマティダ市民劇場を利用…」

・地図〈宮古島市の避難実施要領 (案) の概要～全般方針～〉

宮古島市の報告「令和6年度宮古島市避難実施案の概要について説明いたします。本市住民及び滞在者等の島外避難については、国、県で確保した航空機などの運行計画に合わせ、各地に設置した一時集合場所から大型バスにて輸送することとしており、避難者受付や保安検査の効率化を考慮し、JTAドームや伊良部多目的屋内運動場を住民避難登録センターとしております。航空輸送に関しては宮古空港と下地島空港を使用し、1日あたりの輸送可能人数を宮古空港で6645人、下地島空港で2832人とし、合計9477人を輸送する試算となります。」

〈農水省から家畜の避難について〉オンラインでの報告 「……市だけでも数万頭以上いる (家畜を) 全て島外に避難させるというのは、率直に申し上げてですね、現実的でないということかと思っております。島の外に避難させる必要がある家畜が、そもそもいるのかどうかということも含めまして、避難の優先順位をどうしていくのかということをおあらかじめ検討していくことが大事なことで…」

〈沖縄県の報告〉

「今、先島地域には、主に肉牛など多数の家畜が使用されておりますが、過去にですね、県境をまたぐ多数の家畜の広域避難に関する事例等は見当たらないと聞いております。そのような現状の中ですね、県の基本的な検討スタンスとしましては、避難住民避難を最優先にしつつ、地元の家畜受け入れ先の意向、避難の実効性、事後の畜産振興の観点からですね、取り組む必要があると認識しております。保障に関しましては事後、国において復興施策のあり方の一環として検討されることが基本であると聞いておりますので、本訓練での検討は現実的ではないと認識しております。」



タイトル⑦ 電子戦部隊の車輛搬入 (2025年2月26日) 宮古島

・宮古島平良港 (早朝) 〈港から搬出される電子戦部隊の車輛を止める〉

車輛搬入阻止デモの人アピール「あくまで私たちは自衛隊車輛の陸揚げに抗議すると言う目的で抗議行動を行っておりますので皆さん宜しくお願いします。どうもほんとに朝からおつかれさまです」

〔清水早子さん (ミサイル基地いらない宮古島住民連絡会共同代表) 〕「電子戦部隊というのは有事にですね、電磁波を使って敵の電波を攪乱したり、妨害したり、そして味方を防御するというような戦争状態を作り出す、(戦争が) 生まれるということを前提に、その準備をすすめるというような、今、軍備が持ち込まれようとしているということです。」

[中里成繁さん(ミサイル基地いらない宮古島住民連絡会共同代表)]「みなさん、おはようございます。県外からも多くの皆さんが応援に来てくださってるということで誠にありがとうございます。陸自駐屯地が、私たちが反対する中、『地域住民の同意を得なければいけないという、そういう法律はない』と言われて、無視されて、開設されて6年目、そしてその時は、『これ以上の施設の拡大はありません』と言う説明でしたんですけども、電子戦部隊の配備があるということで、今日配備されるのは車両が15台と聞いてますんで、その15台の車両をどうしても止めて、陸自に配備されないようにしようと言うことで呼びかけたところ、ほんとにみなさん、ありがとうございます。」

清水早子さん「住民の生活に影響を及ぼすことについて何ら説明を受けていないのに、陸揚げは許さないと言うことで、今日の行動にみなさん集結しているわけです。正義は私達にあります。大義は私たちにありますので、ひるむことなく、私たちはここで軍用車両を止めたいと思います。」

上原正光さん(石垣島から)「石垣は、駐屯地が開設されて、今年で3月で、まる2年を迎えます。そういう意味では二周年ではなく二周忌というね、…環境破壊がどんどん進んでる状況の中で、石垣にはもう駐屯地の中に、弾薬庫が4つ完成しております。現在、進行してますのは射撃訓練場、ほぼブラ(?)と同じ形状ではないかなと思うんですけど、これがいま突貫で進められています。これがいつになるか分かりませんが、そういう感じで、どんどん基地もですね、当初46ヘクタールから47ヘクタールに拡張されて、さらにまた拡張されようとしています。」

シュプレヒコール「電子戦部隊、車両搬入反対」「電子戦部隊の配備を許さないぞ〜」

タイトル〈電子戦部隊の車両を誘導するためにやってきた宮古島駐屯地の自衛隊車両を止める〉

清水早子さん「…その部隊が入る前に住民に説明するように、1年以上前から私たちは要求しています。この車両を止めるということは電子戦部隊を止めるということ、電子戦部隊を止めるということは戦争を止めるということなんです。私たちは戦争を止めるために、ここで行動をしています。妨害ではないです。私たちは「表現の自由」に従って、戦争反対の意思表示をしています。妨害ではありません。電子戦部隊という戦争を始める部隊が入るのに反対しているんです。これ以外にどうやって止められますか。」

この戦争に私たちは命が係っているわけ、それを止めるために私たちは命をかけるわけ。むざむざと戦場になることで死にませんよ、私たちは。電子戦部隊が来たら、宮古島がどうなるか、想像してみてください。今でももうミサイルはあるのよ。ミサイル弾があって、8基もミサイル車両があって、政府や防衛省は、何だ『戦争だ』『戦争』だって言うけど、なんにも起こってないでしょう。有事だって言うけど、何が起こってますか?宮古や、石垣や、海のまわりで。ひとたびこの島が戦場になったら全滅だよ。分かるでしょう。」

上里清美さん(ミサイル基地いらない宮古島住民連絡会共同代表)「もし戦争が始まりそうになったら、私たちは九州に逃がすと言ってるんですよ。九州、山口県に。そして荷物ひとつで逃げなさいと言ってるわけ。荷物ひとつ、お家も、学校も。畑も、仕事も、何もかも捨てて、荷物ひとつで逃げなさい、そして1ヶ月だけは面倒見るって。ホテルや旅館は1ヶ月面倒みます。その後は、その後は「自分で何とかして下さい」って言うのが、国民保護計画じゃないですか。」

***の弾薬庫、最も危険な第一群の標識が立ってる弾薬庫。あれはもし火災が発生したら、もう消そうとはしない。すぐ600メートル離れなさいっていう自衛隊の通達というのに書かれています。警察のみなさんにはそれは知らされていますか。回りの家に200メートルも離れていない、あのおうちに誰も知らせてないですよ、自衛隊は。自分たちだけ知っている。警察にも消防にもそんなことは知らせてます?火災になったらどうするんですか。自衛隊は通達で勉強してるんだからすぐ逃げますよ。みなさん基地に行きます?そんなことも自衛隊は秘密にして共有してないでしょ。それでいいんですか?

だから私たち住民がほんとに何にもないけど一生懸命勉強して、情報を集めて、こうやって『宮古の私たちの未来を無くすなって』立ってるんじゃないですか。

電子戦部隊って何のための部隊か分かります?私たちは住民説明会をずっと求めてきた新たな部隊だから、そして宮古島市長も文書で防衛省に説明会を求めている、宮古島市議会も全会一致で説明会を求めている、それにもかかわらず電子戦部隊についての説明会は一回も行われていない。そう言うことなんですよ。

今、地元の(?)ほんとに嘘とね、住民をないがしろにしているよ。自衛隊の仕事はなんですか?みなさんは何のために自衛隊員になりましたか?私たち宮古島住民をなんだと思ってるんですか?

・ 道路に寝て(ダイ・イン)車両を止める人たち
タイトル〈港から搬出される電子戦部隊の車両を止める〉
シュプレヒコール「電子戦車両は帰れ」「宮古島に電子戦(部隊)はいらない」「宮古島を戦場にするな」「私たちは認めない」「宮古島の未来を守るぞ」

清水早子さん「宮古島は平和な島だったんですよ。あなた方が来ることによって、武器、兵器を持って来ることによって、この島は危ない島になったんだ」

男声「自衛隊さえ来なければ平和な島だよ!」「そのとおり!」「あなたたちが来なければ、避難もせんでいいんだよ、あなたたちが出ていけ」「あなたたちが出ていけば避難もせんでいい」

清水早子さん「そうだよ、どうして住民が荷物ひとつ持っただけで、島を出なければならぬのか、そういう目に私たちは今あおうとしているんですよ。自衛隊が出ていけばいいんだ。住民は出ないんだよ。」「その通り、僕らは出ないよ」

照屋寛之さん(沖縄島から)「自衛隊のみなさん。あなたたちが宮古に来たために宮古は平和になりましたか?物騒になりました。宮古を守ると言って自衛隊が入ってきて自衛隊が基地をつくった後は住民は出て行けと。出ていくべきは自衛隊でしょ。自衛隊が出ていけば、こっちは平和な島だよ。自衛隊が出ていけば誰も避難せんでいい。あなたたちが出ていけ、あなたたちが出ていけば、避難せんでいい。あなたたちは百害あって一利無しだ。最悪だよ、あなたたちが来たこと自体が。絶対許せない」

シュプレヒコール「自衛隊はいらない」「ミサイル部隊は出ていけ」「電子戦部隊も出ていけ」「基地を持って帰れ」「ミサイルも帰れ」

・ 道路に寝て車両の通航を阻止する人々
・ 排除する警察官

清水早子さん「私たちは抗議します。この戦力を持って暴力的に排除する、この実力行使に抗議します。」

タイトル〈自衛隊官舎を通過して駐屯地に入ろうとする車両を止める〉

シュプレヒコール「宮古島への電子戦部隊配備反対」「電子戦部隊搬入反対」「自衛隊員は殺すな」「自衛隊員を戦争に送るな」「電子戦部隊はいらない」「宮古島をミサイル基地にするな」

・ 搬入者を運転する自衛隊員
・ 排除される反対する人々
・ 駐屯地に入る自衛隊の器材輸送車

タイトル⑨〈訓練は日本全国で日々行われている〉

日米共同統合演習 キーン・ソード25 (2024年10月24日) 陸上自衛隊 矢白別演習場 北海道別海町

〈1997年からは毎年米軍が訓練を行っている〉

〈参加部隊: 米陸軍、陸上自衛隊、米海兵隊〉

〈米軍のハイマース(HIMARS)高軌道ロケット砲システム〉〈ハイマースの実射〉〈陸自のMLRS多連装ロケットシステム〉

クレジットタイトル

資料③ 映画『拝啓 住民投票さま 石垣島のまんなかで起きたこと』について

【作品の解説】

2018年10月、人口5万人の沖縄県石垣島で平得大侯（ひらえおおまた）地域への陸上自衛隊配備の可否を問う住民投票の実施を求める署名運動が始まった。

それは、1ヶ月で島民の有権者の3分の1を上回る数に達した。そのことは島独自の「自治基本条例」に定められた「有権者の4分の1以上の署名を集めれば、市長は所定の手続きを踏まえて住民投票を行わなければならない」という数をゆうに超えていた。

しかし、市は住民投票を実行に移さなかった。裁判所もなぜか、市の行為が正しいという判決を立て続けに下した。

6年に及ぶたたかいは2024年11月27日「石垣市住民投票を求める会」の解散集会で一応のピリオドを打った。同会代表の金城龍太郎さんは「拝啓 住民投票さま」を読み上げた。

それは、私たちの新しいたたかいへの決意でもあった。（映画『拝啓 住民投票さま 石垣島のまんなかで起きたこと』案内チラシより）

【新作映画「拝啓 住民投票さま 石垣島のまんなかで起きたこと」完成のご報告と上映会のご案内】

湯本雅典です。この度、私の新作映画「拝啓 住民投票さま 石垣島のまんなかで起きたこと」（46分）が、完成のはこびとなりました。みなさまに、そのご報告をさしあげます。

●これまでの私自身の沖縄映画、石垣映画のまとめの映画

私は2018年から沖縄に通い、後半は石垣島に通い詰めしました。その間、5本の映画を作り、今作が6本目になります。はじめは、憲法改悪との関連で、沖縄から事態が始まっていると直感し、動き出しました。その予測ははからずもあっていました。それは、石垣島の市民の頭ごなしに行われた「平得大侯（ひらえおおまた）地域への陸上自衛隊 ミサイル基地建設の是非を問う住民投票」裁判の判決に、如実に表れていました。

●地方自治とは何か？を問う映画

これは、石垣市自治基本条例にある住民投票条項（現在は削除されている）に関わる裁判です。そもそも署名要件が有権者の4分の1と、普通は集めきれないきびしい数を、石垣島の市民は集めきったことで起きたことでもあるのです。そのことが、判決の異常さにも表れたと言っていいでしょう。驚くことに、すべての判決の内容や根拠が違うのです。

たとえば、二つ目の裁判「住民投票当事者訴訟」の一番では、自治基本条例から住民投票条項が削除されたのだから原告には投票を行う権利は生じないとしました。しかし二審では、まったくちがう判決の根拠にあげたのです。地方公共団体は間接民主制が基本だから、住民投票は例外だという具合に。これに対し原告の宮良麻奈美さんは、「全国に法律に携わる方に、この判決について意見してほしいです」と訴えました。

●地域で生きることを考えたい

原告の川満起史さんは「親友が海上保安庁で働いている。台湾有事なんて起こしほしくない」と話しました。地域に、身近なところにこの問題で影響を受ける人が生きているのです。原告3人の思いは、石垣市民全体に直結する内容ではないでしょうか。このことを、県外の私たちはどう受け止めたいのでしょうか。ご一緒に考えたいと思います。（レイバーネットニュース 新作映画『拝啓 住民投票さま』完成と上映会のご案内より転載）



【制作スタッフ】

【登場人物】

金城龍太郎 宮良央 伊良皆高虎 川満起史 大井琢
中山義隆 宮良麻奈美
藤井幸子

【協力】

石垣市住民投票を求める会
石垣市住民投票裁判原告団
石垣市住民投票裁判弁護団

【制作スタッフ】

企画／撮影／編集：湯本雅典
撮影協力：蔵原実花子
ナレーター：名川伸子
音楽：ハルサーズ 本澤陽一
挿入曲：「僕らのまち」作詞・曲：ハルサーズ 「話そうよ」作詞・曲：ハルサーズ
演奏：ギター・ボーカル：金城龍太郎
三線・ボーカル：宮良央
カホン：伊良皆高虎
「話そうよ」の唄：ハルサーズと他の皆さん
ピアノ演奏（「僕らのまち」BGM：本澤陽一
製作・配給：湯本雅典
2025年制作／46分／湯本雅典作品／ドキュメンタリー

ホームページ：

<https://yumo.thebase.in/items/107218288>

予告編：

<https://youtu.be/it2591dA8Zk?si=c43hipdp3za56GD>

DVDの上映・購入の案内
DVD『拝啓 住民投票さま 石垣島のまんなかで起きたこと』
販売価格：2000円（上映権付き・税込み）

申込み・連絡先：湯本雅典
TEL:090-6039-6748
Mail : yumo@estate.ocn.ne.jp

資料④ 映画『拝啓 住民投票さま 石垣島のまんなかで起きたこと』採録シナリオ (テスト版) (1)

【「石垣市住民投票を求める会」解散集会】

0:23

Na①. 2024年11月27日、「石垣市住民投票を求める会」は「会」の解散集会を開催した。

歌：♪…ほんとうは どこにも離されちゃいけない 君と手をつないで下さい。この街で…、♪

0:39

【メインタイトル『拝啓 住民投票さま 石垣島のまんなかで起きたこと』】



0:58

金城龍太郎さん(石垣市住民投票を求める会代表)「みなさん、全ての市民の方に対して感謝状を送りたいと思います。石垣市長名代でいらっしゃるのでしょうか？いらっしゃるようなので、ランダムに選んでいただきます。あくまで前市民の代表として…いただきます。黒島健さん。前の方に…」

Na②. 集会では、「住民投票を求める会」から市民全員に感謝状が贈られた。その代表には、石垣市自治基本条例制作時の元副市長、黒島健さんが選ばれた。

金城龍太郎さん「感謝状、全石垣市民殿。みなさまは国策により暮らしにより、人間関係に多大なる影響を受けることとなりました。心がつぶれそうなときも、笑顔を絶やさず市民生活を続けてきました。そのおかげで今日もこの島が石垣島としてあり続けております。その努力と希望に目いっぱい敬意と感謝を表し、これを賞します。まーる感謝(ありがとうございます)しかいとう みーふあいゆー(とても感謝しています)令和6年11月27日石垣市住民投票を求める会代表金城龍太郎。おめでとうございます。」

Na③. この日司会をやるはずだった、宮良央(なか)さんは、金城龍太郎さんの高校時代の友人で、バンド、ハルサーズのメンバー。一つ目の裁判、住民投票義務付け訴訟の原告だった。央(なか)さんは、当日体調が悪く集会に来られなかったことで、「めちゃ悔しい」と話していたという。

Na④. 同じくハルサーズのメンバーで高校時代の友人、住民投票義務付け訴訟原告の伊良皆高虎さんが、自らの思いを述べた。

伊良皆高虎さん(34歳 義務付け訴訟原告)：これからこの活動終わるんですけど、この活動を通してこれからどんな感じで、どんな、あの、もっと、何て言うんですかね みんなの、ひとりひとりの声が届きやすいようにはどうしたらいいんだろうか、と言ったらなんか、あの、声を上げる、声を上げやすくなる社会を作れるんだろうというのは、これからも考え続けていくことはすごく大事だなと思いました。」

4:18

金城龍太郎さん「住民投票に対する溢れる思いが、6年間分ありますので、泣かないように手紙にしてみました。読みたいと思います。拝啓 住民投票様、いつもお世話になっております。この6年間、あなたにお会いするために、これまで手を尽くし、求めつづけてきました。それも叶わず、今日の日を迎えました。

あなたに会えば、この島の進んで行く道をみんなで共有でき、認め合い、その後の人間関係にも光が差すんじゃないかと信じ、進んできました。僕だけでなく、多くの市民の方が似たような思いを胸に、あなたに会うことを目指していました。その証拠に 条例のハードルを超える1万4000以上の法定署名が集まったんです。このご時世に住所、氏名、印鑑まで、ありえないですよね。でも、市長、議会、司法、誰もこの署名に向き合うことはありませんでした。議会は審議不足で否決という自らの役割を放棄して住民投票を阻止、後に条例から住民投票の条項を削除、市長は議会に付議するまでが自分の義務だと責任転換、司法はあらゆる理由で判断を避けて門前払い、そこまでして、誰も住民投票さん、あなたを召喚しなくなかった。あなたはそれほどに怖い存在なんですか。もしかして反社会勢力の方ですか。(聴衆、笑い) あなたの姿を見るために過ごした6年はめぐるしいほどの人との出会いと別れがありました。まだ見ぬ住民投票さんを追っている僕らは、取材しに来たり、話を聞きに来られる方々、集会は旅先で会いに来てくださる方々、何十年か分の人々の往來がここ数年にぎゅっと凝縮された気がします。そんな中、ずっと運動させ続けてくれた川平成雄さん、宮良勝博さん、小山たかやさんが、この世を去りました。この運動がなければお会いできなかった先輩方でした。別れるには早く、そして惜しい、大切なつながりになった気がします。そして新たな出会いもあります。若いメンバーに大切な一生のパートナーができました。そして新しい命…。住民投票さん、あなたにはお会いすることができませんでしたが、こんなにたくさんのお会いとつながりが出来ました。どうですか、嫉妬しましたか。(聴衆、笑い) 悔しければ今度はあなたから会いに来てください。」

7:31

【弾薬庫遠景 2024年3月】



8:15

【福岡高等裁判所那覇支部(沖縄県那覇市)】

【「不当判決」「市長の義務違反を許すのか!」の立て幕を掲げる】

川満起史さん(当事者訴訟原告)「住んでる人、ありとあらゆる人がどうやったら民主主義を達成するかっていうことを考えてないとどんなシステムを駆動させたとしても、民主主義は達成できないと思っています。なので、間接民主主義だから、市民の声を聞いてるという考えは、そもそもおかしい。民主主義はシステムの話をしてるんじゃないくて、市民の声を聞こう、主権者たる市民の声を反映させようという意思の表れだと思うので、今の行政、司法、裁判官はそういう意志が全くないんだということさみしく感じているところです。」

資料④ 映画『拝啓 住民投票さま 石垣島のまんなかで起きたこと』採録シナリオ (テスト版)
(2)



大井琢さん(弁護団長)：じゃあなぜ皆さんの権利を認めなかったか、この判決で負けてしまったかという一言で言うところいうロジック、今から申し上げる驚くべきロジックを使い出しました。いろんな判決が出てますけど、どの判決でもちょっと今まで使われてなかったロジックです。一言で言うところいうロジックです。『地方自治においては間接民主制が原則である』

9:40

【福岡高等裁判所那覇支部判決文】

Na⑥. 2024年3月12日、福岡高等裁判所那覇支部は、沖縄県石垣市平得大俣地域への陸上自衛隊ミサイル基地の開設をめぐる住民投票裁判当事者訴訟で、原告である金城龍太郎さんたちに対して控訴を棄却した。

Na⑦. 判決は「普通地方公共団体は、間接民主制を基本としている」「住民投票制度は間接民主制の例外」とした。

【新聞記事2015年11月27日八重山毎日新聞見出し「陸自の受け入れを要請」】

Na⑧. 石垣市では2015年、政府が直接来島し、島の中央、平得大俣という地域に陸上自衛隊ミサイル基地を建設する計画を伝えた。中山石垣市長は2016年、基地受け入れの手続きを開始することを発表した。



【「市民大署名運動会開幕式」案内チラシ】

【意見広告あなたがおもう「理想の島」認め合って「みんなの島」へ】

Na⑨. そして2018年、金城龍太郎さんを代表とする「石垣市住民投票を求める会」が発足。わずか1か月間で島の有権者の3分の1以上という1万4千263筆の人以上の署名を集めきった。

【ボード「石垣市自治基本条例第28条」】

Na⑩. それとというのも、石垣市には島独自の「自治基本条例」があり、そこには「4分の1以上の連署をもって～市長に対して住民投票の実施を請求することができる」「市長は、第1項の規定による請求があったときは、所定の手続きを経て、住民投票を実施しなければならない。」とあったからだ。

【石垣市役所】

【石垣市自治基本条例 逐条解説】

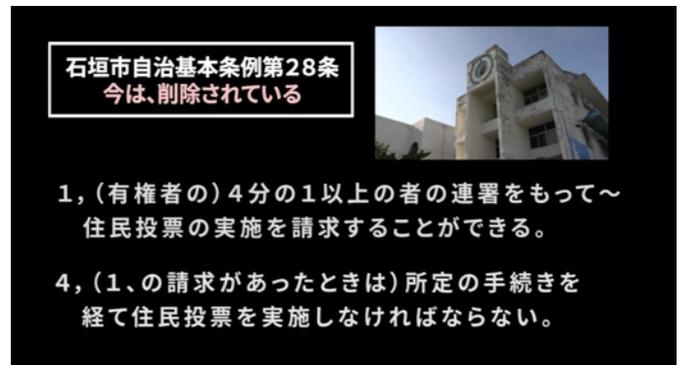
Na⑪. その後、署名は石垣市議会に届けられ、一旦議会にかけられた。それは、自治基本条例の解説書である「逐条解説」に住民投票の市民による直接請求は、地方自治法第74条にある住民の条例制定改廃請求権に基づくもの1つとして請求できる、請求された署名は有効な場合、市議会に付議すると書かれてあるからである。

【地方自治法第74条】

Na⑫. 地方自治法第74条には、市民は市長に対して条例の制定または改廃の請求をすることができると書かれてある。そして同法では、有権者の50分の1の署名で住民投票条例案は議会に付議され、議決されれば住民投票は実施されるとある。

【新聞記事2019年2月2日八重山毎日新聞・見出し「陸自住民投票を否決」】

Na⑬. 石垣市議会では、住民投票条例案は賛否同数であった。そして議長採決で住民投票条例案は否決され、住民投票は実施されなかった。



13:15

【「石垣市自治基本条例第28条」同「逐条解説」】

Na⑭. しかし石垣市自治基本条例には、有権者の4分の1以上の署名が集まれば市長は、所定の手続きを経て住民投票を実施しなければならないとされている。また、逐条解説でも4分の1以上の請求があった場合「市民からの請求を拒むことはできず、所定の手続きを経て、住民投票を実施しなければならないことを定めています」とある。

【石垣市役所】

Na⑮. だから市長は市議会で住民投票条例案が否決された場合でも、投票に必要な投票日、告示日、選挙人名簿などの投票規則を定めるという所定の手続きを経て、住民投票表を実施できたのではないだろうか。石垣市自治基本条例第42条には、「施策(しやく)の推進に関して、必要な事項は別で定める」と書かれてある。

【新聞記事 2019年7月30日八重山毎日新聞・見出し「住民投票求め意見交換」】

Na⑯. この点について、中山石垣市長は市民の質問に「市議会が住民投票条例案が否決された結果、その効力は消滅した」とくりかえし述べ、またこのようにも語っている。

資料④ 映画『拝啓 住民投票さま 石垣島のまんなかで起きたこと』採録シナリオ (テスト版)
(3)



15:00

【中山義隆市長インタビュー】

中山市長「住民の1/4の署名が集まれば、住民投票を実施する。すべきと言うことになってはいますが、やはり地方自治法に従って手続きをしなければならない。4分の1集まったとしても、市長独断で住民投票することは出来ませんので、議会に諮らないといけない。そうすると議会が多数の問題になりますので、同じような形になります。それを考えると、(自治)基本条例で4分の1、1万人あまりの署名を集めるという高いハードルを設けるよりも地方自治法の50分の1で700人の署名が集まれば申請できる、その方がより市民にとってはハードルが低くなりますので、住民の声を議会に届ける、もしくは首長の判断にゆだねるという意味では、地方自治法に基づいてやった方がいいかなと思っています。」



16:00

【ポスター「なぜ若者が声を上げるのか～石垣島の住民投票～住民投票義務付け訴訟」

Na⑩、「石垣市住民投票を求めめる会」は、2018年に行った署名運動に引き続き、石垣市長に住民投票の実施を求めた住民投票義務付け訴訟、原告らが石垣市平得大俣地域への自衛隊基地建設の是非を問う住民投票において投票できる地位にあることを確認する地位確認当事者訴訟という2つの裁判をたたかってきた。

16:40

【新聞記事2021年8月31日八重山毎日新聞・見出し「最高裁も棄却」】

Na⑩、裁判所の判断は、すべての判決で却下もしくは棄却であった。その間に、石垣市議会与党は、石垣市自治基本条例の住民投票の部分削除を賛成多数で議決させた。

裁判所の判断は全ての判決で却下もしくは棄却であった。その間に石垣市議会与党は石垣市自治基本条例の住民投票の部分削除を賛成多数で議決させた。

Na⑩、石垣市も裁判所も、石垣市自治基本条例のとても大事な部分を無視し続け、つぶしつづけてきたのである。

17:10

【話す宮良麻奈美さん・裁判所前で】

宮良麻奈美さん(当事者訴訟原告)「日本全国に法律に関する方、詳しい方達がやっぱりこれについて意見してほしいです。『おかしい』って。じゃないとこれを前例にしてまた同じことが繰り返されるといいますし、ゴリ押しすれば許されるんだってそういう前例を次々と、沖縄から、石垣から作ってしまっている状況を看過してほしくないと思ってます。」

裁判傍聴者(那覇市在住)「条例で、石垣の条例で1/4集まったら市長は実施する住民投票を行う義務があると明確に書かれているのに、議会がどうのとか、いろんな理由を持ち出して住民投票が行われなかったことに本当に危機感を感じて、やはり那覇に住んでる私とかでも、関わる、で、日本全国関わるとも意味が大きい裁判だと思ってます。」



18:10

【2023年3月石垣島にミサイル弾薬搬入】

弾薬搬入反対のアピール「私たちは誰も殺したくない、殺されたくもない、だからこそ戦力は持たない、戦争はしないと誓ったのではないのでしょうか。それはこんな形で踏みこじられている、憲法を無視した形で自衛隊が配備され、軍力をさらに強化しようとしている。そんな方向に私たちは声を上げます。こんな道はいりません。是非そのことも広げていきたいと思っています。」

18:47

【石垣駐屯地遠景～ゲート前】

【2023年3月16日陸上自衛隊石垣駐屯地発足】

19:23

【新聞記事2024年8月25日八重山毎日新聞・見出し「銃器使った空包訓練想定」】

Na⑩、陸上自衛隊石垣駐屯地が開設されて以来、これまでなかったことが立て続けに起きた。海上自衛隊の艦船の民間港への寄港、初の公道訓練、駐屯地の拡張案、日米の合同訓練の為に石垣空港への日米の軍用機の飛来、その中にはこの間何回も事故を起こしているオスプレイの姿があった。

20:00

藤井幸子さん(石垣島の平和と自然を守る市民連絡会事務局長)「そもそもが与那国で事故を起こした機体というのが、その前々日25日に石垣空港に来て傷病兵を運ぶって訓練した機体なんですね。同じものなんです。その後、一旦那覇に戻って、その後与那国に飛んでいってことだったので、ひょっとしたら石垣で起きたかも分からない。今回人的ミスと言われてるけれども、機体そのものに欠陥があるって言うのはずっと言われてきて、まあそれについてのもうずっと言われてきて、そんなふうなことで、今回まあ離陸時に揺れてって言うことだけど、それについていろんな意見も出てきてるので、構造的なことがあって重なって事故起こしたって風なことを考えれば、もしそれが石垣で、あるいは駐屯地じゃなしに、民家の上でってなったら大変な事態だなということすごいみんな衝撃でしたね。」

資料④ 映画『拝啓 住民投票さま 石垣島のまんなかで起きたこと』採録シナリオ (テスト版)
(4)

21:00

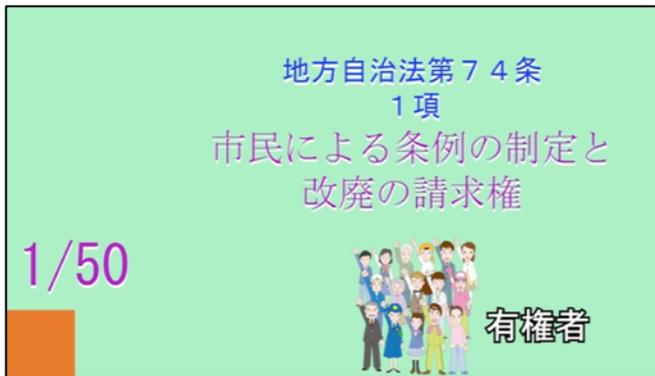
【基地建設に土砂を運び込むダンブカー】

Na⑩. 基地が開設して1年半以上が経った今、基地の存在は市民にどう映っているのか、また、住民投票はやるべきだったのか。市民に聞いてみた。

21:18

【イラストボード:市民の声】

- ②「基地は、できちゃったしね。最初の話と違うね」(50代、男、タクシー運転手)
- ③「基地については、こわい。住民投票については、今やっても意味があるのでしょうか。」(40代、女性、薬局店員)
- ④「基地は、どちらかといえないほうがいい。住民投票は、やったほうがよかった」(20代、女性、売店店員)
- ⑤「基地は、しかたがないんじゃないか。台湾に近いという地理的条件があるし。」(タクシー運転手、男性、30代、大阪からの移住者、ダイビングが好き)
- ⑥「何もしなかったら中国に好きにさせられる。基地賛成。住民投票は、やったほうがいい。」(タクシー運転手、40代、男性)

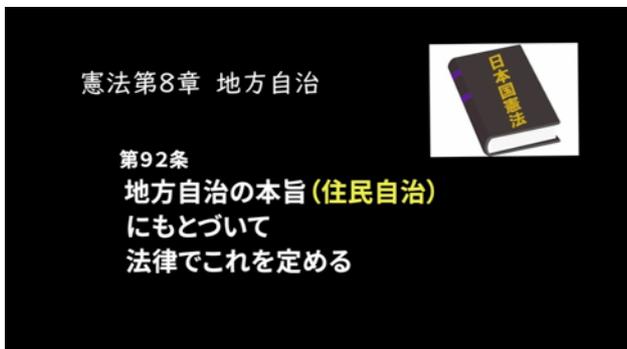


22:08

【ボード: 地方自治法第74条1項市民による条例の制定と改廃の請求権】

Na⑩. 地方自治法第74条1項にある「有権者の五十分の一以上」で「議会の議決が必要」という署名要件は、憲法第92条にある地方自治の本旨に基づき「国が国民に最低限保障すべき基準」であり、これ以上の規制を許さないとする「規制限度の法律」と解釈すべきものである。

(次ページNa⑪. しかし、石垣市も裁判所もたとえ自治基本条例による規定があったとしても、これを「有権者の四分の一以上」と大幅に加重した上で「議会の議決」が必要とした。また 裁判所もその判断には法律上の矛盾抵触はないとし、容認した。



23:10

【ボード: 憲法第8章地方自治 第94条】

Na⑩. これは、憲法第94条にある「地方公共団体は、法律の範囲内で条例を制定することができる」、つまり「法律に違反しない限りは条例制定ができる」に違反しないか。すでに高等裁判所判決では、市のやりかたに「矛盾抵触はない」としていた。

Na⑩. またこれは憲法第92条の「地方公共団体の組織及び運営に関する事項は、地方自治の本旨に基づいて法律でこれを定める」のだとすれば、地方自治の本旨つまり住民自治に反しないのか。

【最高裁判所前】

Na⑩. 憲法の番人たる最高裁判所は、このことをしっかりと判断しなければならない。

その思いを届けに「石垣市住民投票を求め会」は、初めて上京し最高裁に要請を行った。

「おはようございます おはようございます」



24:35

【最高裁前インタビュー】

要請行動参加者: 「なんか普通に生活してると考えなくともいい状況っていうのが、まあおそらく多分たくさんあって、で、できれば考えたくないっていうような思いも多分みんな直接、特に経験してない世代ってのはあって、まあ楽しいことだけ考えてたいとか、その方が楽だっていう気持ちもあるんですけど、なんででしょう、その楽な方に行かないというか、自分の今の楽しいこととか、やりたいことをやるって言うそのためには、まず現実を知っていることが大切になっていく風には思っています。」

「8時50分に、この門から入場するんですけども、すいませんが17名という限定になります。上限が17名。きょうここにきている方全員に入らせていただくわけに行かないので、当然、原告団と石垣から来られてる方は優先にさせていただきますしたいと思います。」

26:40

【衆議院議員会館】

♪話そうよ、話そうよ、たいせつなこと 島のこと♪
金城さん「初めて、最高裁* *で、ピラ配りとか要請行動をしてきました。」

とても楽しかったです。僕と同じ原告の川満たちと二人でこの横幕を裁判所の前で、持ってて、通ってくる通行人の方に挨拶しながら、声かけてたんですけど、その時に横幕持ってるだけだったんですけど、風を受けて動かないようにちょっと気をつけながらやってたんですよ、最初はこういう向かい風で、後ろに押されるような感じだったんですけど、途中から風向き変わって、後ろから吹いたりとか、なんかやっぱりいろんな風の吹き方、東京でもあるなんて思いながら、でもこれってこの横幕を持ってないと分らなかったことで、何て言うんですかねえ、僕たちもこの今、ずっと声をどうにかあげ続けてつなぎ続けてきて、そういったちょっと帆を張っていたから、やっぱり皆さんのこういった支援を感じれたりとか、今ちょっとそのずっと向かい風かなと思ってたのを、遠くに来ると多くの方が足運んでくれて、意外と追い風になってんのかなって感じも感じました。」

資料④ 映画『拝啓 住民投票さま 石垣島のまんなかで起きたこと』探録シナリオ (テスト版)
(5)

29:03

参加者「僕がこの事件で言うか、ラジオのニュースで、28条が急に廃止されたって言うのを聞いて、これはやっぱり明らかにおかしいんじゃないかみたいなの、明らかに意見を聞く場すら奪おうとする、そう言うやり方って、おかしすぎるだろうみたいなのところから、ずっと興味持って、今日もちょっとタイミングもあったので、来させていただきました。

ちょっと経緯が僕、なかなか追い切れてないところがあったので、今あった28条を、どういう理屈で議会は、その廃止に持ち込んだのかっていう、そこの話をお聞かせいただきたいと思いますので、教えていただけたらと思います。

29:40

金城さん「簡単に僕も…、記憶のある範囲でいいですか。こういったこの条項があって、僕たちがあの条例にのっとって請求して、今こういったあの人の解釈の問題で裁判になっているところを議員さんが取り上げて、『この条項があるから争いごとが起こる』っていう風な結論付けて、条項を無くしてしまおうという流れだったと思います。すいませんこんなことで。

参加者「ほんとに、何考えてんのか、メチャクチャなところから始まってんだなって。ほんとにさらに驚きました。」



宮良麻奈美さん「入構証がもう発行できないってことで、上のロビーで、入れなかったみなさんとオンラインで視聴しておりました。最後に一言だけ話させてくれてちょっと割り込んで、戻って参りました。

住民投票の発端となった 陸自配備計画なんですけど、私に関わり始めたのは2018年からで、その時から思っていたのはやっぱり、この島に人が住んでいないかのような、自分たちの頭の上で大きな話ばかりがどんどん先行して進んでいるような感覚を覚えたのが最初にこの問題、関心をもったきっかけになります。

今回、オンライン署名を提出してきたんですけど、拡散の協力お願いしてきたんですけど、拡散の協力とか 寄付とか全国から支援していただいている中で ちょっと腐ってた自分はあるんですけど、まだ希望あると思うようになってきて、本当に心強く感じてます。

住民投票を通した私たちの動きが本当に日本に広がって行って、絶対にその次につながるものだって確信しておりますので、あともう少しになりますけど引き続きよろしくお願いします。

31:50

東京集会参加者(武蔵野市の住民投票運動に参加)「やっぱり頑張ってる石垣の皆さんのあれがすごい力になりますね。それからもうひとつは、今度の高裁の判決はひどすぎて、要するに地方自治は間接民主制が基本だっていうあの判決はひどいですね。武蔵野市でね これから条例をもう1回通したいという運動はどうかでまたやらないといけないと思うんですけど、その時に、この石垣のあの高裁判決がひっくり返らなかったら、もうそれは住民投票条例っていらないうってことになっちゃうわけじゃないですか、住民自治が否定されちゃう、これはやっぱり許しちゃいけないし、という思いで、今日来ました。



32:30

【サトウキビ畑～新聞記事2024年10月2日八重山毎日新聞「最高裁、上告を棄却～」

Na②. 最高裁は2024年9月26日、原告の上告を棄却した。そこには、原告は「違憲をいうが、その実質は単なる法令違反を主張するもの」という記述があり、「違憲」の主張に耳を傾けるものではなかった。



大井琢さん「地方自治は間接民主制が基本だと言ってしまっって、憲法は全ての法律、条例に影響を与えるわけですから、そう言うてしまうことによって地方自治における直接民主制の制度には全部これから、へたをすればっていうか、こういうことを言うてしまったら、原理原則論はそうなんだから、議会の判断が全て絡む必要がある。住民が直接民主制、直接民主制って言うのは住民の判断を直接、住民自治という名前の通り、地方の自治に反映させるという制度にある必ず議会の判断や議会の関与がなければいけない、あるいは条例がなきゃいけない、個別の条例がなきゃいけないみたいな話になりかねないというかそう言うてるに等しいわけです。

34:04

【石垣市アーケード街～石垣島風景】

Na③. 原告の3人にこれまでのたたかいを振り返ってもらった。

伊良皆高虎さん「本当に民主主義を実現させるぞっていう気概を持って取り組まないと、それは達成できないことなので、それをよく表してた住民投票の一連の活動だったんじゃないかなって思いますね。

なんか本当に民主主義のあり方とか、まあ後半の方はどうか、この司法と市民とのあり方みたいなのも今度は考えさせるようなフェーズもありましたし、なんかいろんな主権者、国民とか、市民とかが主権を持つてると言葉では言うけどそれを実現するってどういうことなんだろうというのをすごく考える機会にもなったし、何なら、いい教材ですよこれ。

資料④ 映画『拝啓 住民投票さま 石垣島のまんなかで起きたこと』採録シナリオ (テスト版) (5)

35:00

宮良麻奈美さん「たたかいの過程、その中で例えば、繋がりを得た人とか、自分たちで成長したり、得た物っていうことが私、財産だと思ってるし、民主主義の意味だと思っているので、確かに今回は住民投票できなかつたですし、裁判も敗訴したけれども私はここからがスタートだと思ってる、1回で勝ち負けて決まらないし、まああえて負けて言葉を使いますが、民主主義って勝ち負けではない。」

35:31

金城龍太郎さん「いい修行になったかなって思いますね、人生の。結構、濃ゆく、詰まったような6年間だったので、また人との出会いが、激しく、多くあって、そのなんていうんですかね、気持ち的にはすごく年数以上に、いま、年を重ねた感じがします。」

【ガジュマロの大木】

36:20

川満起史さん「同級生、いま自衛官として頑張ってるよなーとかっていう同級生もいっぱいいるんですよ。先輩とかも。身近なんですよ、そういう意味では。大学の時も。だから自分にとって、日本が有事に陥るっていうことは、同級生が命をかけるとか、先輩たちが命をかけるっていうことに繋がるから、すごく自分ごとだと思ってたんですよ。だからその感覚が、みんなあるんだろうかみたいな。海上保安庁に行った親友とかもいますし、尖閣で何かあったら、彼ら行くんだとか、なんかそういうことを考えると有事にはなつて欲しくないんですよ、戦争なんてなつてほしくないんですよ。そのために何ができるんだろうとか、なんかそういうのは自分ごととして戦争のことをもう1回ちゃんと勉強しなきゃとか思った期間というか、時期があったんで、今もそう言うのは変わらずと言うか、自分のことなので。」

37:40

【サトウキビ畑の向こうの基地？～陸上自衛隊宿舎】

宮良麻奈美さん「やっぱ、沖縄って何だろうって思いますね。沖縄って存在って何だろう、日本国内で、なんかやっぱ私は胸を張って自分のことを、『日本人だ』って強く自負しているわけではないですし、別に日本が嫌いとかいうわけではなく、文化も人も好きですけど、でもこの基地問題ってなった時の日本政府だけじゃなくて日本国民の、何だろう、ちょっと冷たいなって思う態度だとか、やっぱそこには構造的な差別、琉球処分から、日本から切り離されてアメリカの統治下にあつて、で、そこから日本復帰した後もずっと基地問題が続いてる。応援してくれる人も連帯してくれる人もいるから心苦しいなっていうのあるんですけど、なんかもっと一歩先に進んだ議論をしたいなって。」

39:02

【金城龍太郎さんに実家のマンゴー畑】

「全部、一本一本紐で、こう上から吊ってんだけど…」「はい、そうそう」「頭、気をつけてください」「太い紐で枝を1本1本下のパイプにくくりつけてるんです。」「引っ張ると下に行っちゃうから。上に行かせるようにこういう風に細い紐で上から引っ張って」「光合成がよくできるようになるので、なるべく多くの葉、多くの枝で光合成してもらって養分をいっぱい作ってもらってのが重要なと。」

39:58

金城龍太郎さん「少し、えっとちょっとかつこよく言えば地域や島のその未来を作る、ほんのちっちゃな何というですか、未来づくりの歯車の一パーツとして動きたいなって思ってます、僕の中で未来っていうのは、明確に、えっと、島にいる子供たちなんですけど、その子供たちが将来の島を支えていって、人がいて、やっぱ島が成り立つので、その子供達が素敵な大人になれば、きっとこの島ももっと輝くって風になつてるので、その子供たちが楽しめたり、活躍できる、何か楽しみ自分の好きなことを見つけられるようなきっかけ作りを地域だったり、またPTA活動で、なんか手伝っていけたらなと思ってます。」



41:54

【畑～港～交差点の「開南は命はぐくむ水のふるさと」の看板～解散集会】

金城龍太郎さん(解散集会で)「僕は今後、新しい未来にかけてみようと思います。一度島にできた傷や溝を埋めることは難しいです。けれど開いた傷を、チャックを閉めるようにゆっくり少しずつ、年月をかけてつなげていく、そのためには島の子供たちに憎悪を引き継がないことです。真実を伝えて、考え、判断してもらおう、そうすればこの傷は、生まれてくる子供たちの年代には止まっていくはずなんです。子供たちにはよりピュアでクリエイティブな感覚が宿っています。彼、彼女たちを信じて、よりかつこよく素敵な島んちゅになれるよう頑張るつもりです。まさに僕たちを信じてこの運動をサポートし続けてくれたかつこいい先輩方のように。では住民投票さん、いつか会える日までさようなら、そしてありがとうございました。シンミリさせてしまいましたが、本日、これを持ちまして「石垣市住民投票を求める会」解散させていただきます。本当にありがとうございました。」



43:50

集会参加者「やってきた事実は残ります。頑張ったっていう、あの投票の数とかさ、きちんと真正面からぶつかっていった、逆にそれをがっぷり四つに組むことなく、潰されてしまった、で、司法も何を忖度してるのか、言葉遊びみたいな逃げの判決を出しちゃった。その事実は誰も消せない、それは残る。それを自分の中のパワーに変えて、この自治って何なのか、住民の意見は、じゃあどこで言うべきかとかっていうのを、みんな考えていけば変わるんじゃないですか。人の言ってる意見、少数にも耳を傾けてっていう、それに繋がっていけばいいかな、うちなんか実際そうさね、あそこは田舎だから人もあんまりいないと市長に言われて悔しい思いしてきた、それを石垣の中のあの地域、県の中の石垣島、日本の中の沖縄っていう、閉じ込めることじゃなくて、みんなでの痛みを自分の痛みとして考えませんかということにつながっていったらいいんじゃないですか、僕は、悲観はしてない。」

45:23 エンドタイトル 音楽♪



第81回憲法を考える映画の会 (憲法映画祭2025) は、2025年4月29日、武蔵野公会堂ホールで行われました。上映プログラムは『禁じられた遊び』『ベアテの贈りもの』『オンザロード』『不屈の男 金大中』『夢みる校長先生』の4作品です。以下は、当日上映会参加票に書かれた感想やご意見です。

【参加票に寄せられた感想など】

- 「禁じられた遊び」が戦災孤児の物語だったとは忘れていて、もの悲しいメロディと共にあらためて戦争の悲惨さに胸が痛みます。「ベアテの贈りもの」日本に遠大な贈り物をありがとう。金大中見たかったのです。ずっと追って韓国の歴史と共にわかりやすかった。市民の力の大きさと信じる事の大切さが胸に迫りました。「夢みる校長先生」あのような先生方に出会える子供たち幸せです。このような教育を広げてほしいです。良い映画ばかりでした。感謝します。(M.I.)
- お坊さんと鉄砲 (ネパール→注ブータン) 犬と戦争 (山田あかね)
- 今日の朝から3作品全て強く揺さぶられ胸に深く刻まれる作品でした。ありがとうございます。(N.I.)
- 大変学びになりました。子どもの教育のあり方。考えたい。そして実現していきたい。(M.I.)
- 金大中氏の演説の力強さ。政治家としての見識の高さを改めて感じました。特に独裁政治に抵抗する市民を政治の基礎として地方自治、中小企業を重視する姿勢が強く印象に残りました。(S.I.)
- 今日は、教育「夢みる校長先生」を観ました。「学校に自由を」まさにその通り。実現して欲しいです。素敵な校長先生達の笑顔を見ていたら、是非、日本でも、実現して欲しいです。人を大切に教育実現させて欲しいです。その為にも、教育見直し実現して欲しいです。今日はありがとうございました。(T.E.)
- 最後の「夢みる校長先生」のみの参加となりましたが、希望を持てる映画の上映で、ありがたかったです。オオタヴィンさんの映画、沖縄のこと、中村哲さんの映画...やはりドキュメンタリーの映画は、観れる機会が少ないので、とてもよい会だと思いました。文章がまとまらなくてすみません。ありがとうございました。(N.O.)
- 「夢みる校長先生」→複数の学校で実施されているので希望が持てました。「オンザロード」→再上映を希望致します。(I.O.)

●金大中さんの生涯、こんなにも劇的なものだったのか。また韓国の人々の民主化を求める活動に心を動かされました。韓国の政治には多少疑問を感じることもありますが、多くの人の血が流されてきた事に心が痛みます。日本も南北の分断、また韓国内の分断にも関与していた事を思うと、反省せざるをえません。内政、外政、ともに複雑な昨今、個人の方ではどうしていいかわかりません。私事になりますが、'70年代、金大中氏救援運動で集会に参加していた事を思い出しました。映像には映っていませんでしたが、宇都宮徳馬さんや青地農さんの事など思い出しました。危ない人ばかりが世界の指導者になっています。小さな力であっても市民一人一人が考えを深めていくこと。動くことが重要と感じます。(Y.O.)

- 念願のオンザロードをみたくて来ました。夢みる校長先生もみました。どちらも、とても、みられてよかったです。いつも見逃した、見たかった映画や劇場でみられないような作品がみられて助かってます。ありがとうございます。(F.O.)
- 「夢みる校長先生」良かったです。つねに点数を比べられる息苦しい学校をかえていきたいです。(C.O.)
- 大変有意義で勉強になりました。次回も是非参加したいです。(Y.K.)
- 「オンザロード」本当にすごい人ですね。こんな不屈の人は初めて知りました。見れてよかったです。「夢みる校長先生」すばらしい校長先生がたくさん嬉しいです。(M.K.)
- 金大中さんは高校生の頃テレビなどで見ていましたが立派な人であることがわかりました。涙が止まりませんでした。韓国の民主化の強さ、勉強になりました。人を守る、これが、大切、学びました。(M.K.)
- 以前2日間全部鑑賞したら、眼が疲れ、痛みました。今日は、「禁じら…」を見て、眼の調子を考えながら...と思っていたのですが、やはり全部見ました。「禁じら…」は以前見たことがありましたが再び涙でした。「ベアテ…」「オンザロード」「夢みる」みな、すばらしかったです。ありがとうございました。(K.K.)
- 「ベアテの贈りもの」映画をみたくて、ずっと楽しみにしてきました。期待以上のもので、書籍とはまたちがう映像のすばらしさや、戦後の女性の歩みも感動をもって見る事ができました。感謝です！(K.S.)
- 最後の「夢みる校長先生」のみ参加しました。出演者の校長先生 (大人たち) の笑顔がよかったです。今後がんばってください。※パク・スナム監督の「よみがえる声」を夏公開で準備しています。私はそのスタッフですが、いつかみなさんにみていただきたいです。(C.S.)
- ベアテさんが作った憲法24条と、その当時のことについての映画だと思ったら、それが現代の働く女性にどう息づいているのかという全く違う方向にむかい、興味深く見ました。(M.S.)
- 初めの一本目は見れませんでした。三本見ました。三本共2回目ですが、素晴らしかったです。この機会を是非続けてください。(A.S.)

資料④ 第81回憲法を考える映画 憲法映画祭2025 (2025/4/29) 参加者感想から (2)

●全作品みました。
コンビネーションのすばらしさを、1日のおわりに感じました。プログラムをみたときは、?と思ったのですが、うまくまとまって、民主主義のこと、自由のこと、憲法のことを考えられる構成になっていると思いました。
オンザロードはポレポレでもみましたが圧巻の作品で、People's Powerがこのくらいあれば!と思うしこのような強い信念ビリーバーである人材がうらやましい。金大中さんが米国では保守でも民主主義を信奉しているんだと言っておられたけど、2025年の今米国はそんな風にはなっていないで、まさにカオス。日本でも兵庫県のこと、今も解明されないアベ政権?のいろいろ…頭が重くなる。
自分は子どもを育てることに失敗して、子どもは自由は大切にしたが、社会のことも政治のことも無関心になってしまった。でも学校の教育(昔は、今おもえば日教組の先生とかいたんだな?)子供のときはわからなかったけど)や日々のNewsもみていて戦争放棄とか人権とかちゃんとならっているのか、SDG5とかいっていても空々しいことと思う。まとまらない考えで書けない字で書いてしまってますみません。本日の機会、すばらしいセレクションに感謝します。(K.S.)

●続けることが大切です。
金大中記念館(木浦にある)行ったが映画のように生々しい展示はなかった。5回死にそうだった。ラチされて日本の警察政府はなにもしなかった。
8月15日白い服が話に聞いたが77見れて良かった。
日本でも金大中死刑反対もすごかったこと知った。死刑が無期になったのも知らなかった。金大中アメリカで治療受けたのも展示になかった。民衆は歴史を動かす原動力とわかった。光州事件もアメリカ加わる。
夢みる校長は大変よかった。こんな先生がいたら日本も変わる。伊那小1950年通知表?し、自然の中の子供うらやましい。児童、先生も良いがいつまで続けられるか?文科省が認めてくれるか。(K.S.)

●「禁じられた遊び」
未熟な子供の悪(ぬすみ)の純粋さは、戦争の悪と比べてとても美しい。ミシェルとポーレットの会話が、純粋でいちずで、かわいらしくて悲しい。戦争の何たるかを知らない子供の目、気持ちを通して戦争のおろかさのアピールしたエスプリのきいた秀作。(S.S.)

●「禁じられた遊び」:初めて見ました。親を殺されたポーレット。彼女は首に札を付けられ、ミシェルを求めて走って行ったが、その後はどうなったんだろう。思うのは高畑勲の“蛍(ママ)の墓”の女の子の飢えの姿である。隣の住人の逃げてきた青年はドイツ軍に見つからずに済んだらうか?結婚を希んでいたミシェルのお姉さんはどうなったんだろうか?戦争は起こしてしまうと、市民の力では止められない。子供、女性、高齢者はもちろん、男も身ぐるみはがされる事実を感じました。フランス映画らしい。良かった。

●すばらしいラインアップだと思います。
所用があり、「禁じられた遊び」しか鑑賞できなかったのが残念。(O.K.)

●厳しい世界情勢の中、貴重なドキュメントをありがとうございました。若者にも観てもらいたいです。自分たちが歴史的存在であることがせんよくわかります。先輩方をひきついで今があり更に未来を形創っていきたくです。(無記名)

●ベアテの贈り物:樹村みのりさんの作品で、若いベアテ・シロタさんが、僅か9日間の中で人権条項を紡ぎ出されたように憶えています。映画でベアテさんが日本語スピーカーだと知りました。彼女の想いが天皇条項並みに、当時の日本側“識者”が、“日本的で無い、馴染まない”と拒否された、との証言は驚いた。今の自民党アベ派の主張のままではないか。ベアテさんが九条にも思いを寄せ、世界中に拡がるべきとの言葉。ジョンレノンのイメージと同じ想いになりました。

金大中。光州の事件のこれだけの映像を初めて見ました。1923年8月の時、沖縄で知り、事態が、どんなものか判らないまま朴独裁政権の恐ろしさを感じた。

韓国の民主主義の歴史が思い出され、あの時の自分を、日本はまだまだスタートラインだ。演説(スピーチ)の力を感じました。ベン・サンダースと同じ力を感じます。
夢みる校長先生~おもしろかった。頑張ってたんだ。そうだそう。僕も何かやり出そう。(K.T.)

●先日は、良い映画を一日に4本も上映して下さってありがとうございました。最初は全部見るのは無理だろうと思って見たのですが、結局、私の得意な居眠りなども大してせずついてくるのが出て満足しています。
私は憲法学者でも何でもないので大きな事は言えませんが、もっと他国の憲法をも紹介する映画、例えばアメリカ合衆国、コスタリカ、そのほかの国々の憲法、それにワイマール憲法など、良い意味でも悪い意味でも日本人やその他の国の人に参考になるような映画やそれらの成立や歴史を紹介する映画をも、もしあればの話ですが、上映して人々に広く知ってもらえるようにするのはいかがでしょうか?!会場を出るまで思いつかなかったのですが、帰り際にふとそう考えました。誠に勝手な考えですが、一応私の意見として申し上げたいと思います。日本国憲法を愛する、守りたい者の一人として。以上です。(K.K.)

●“オン・ザ・ロード”再上映期待します。是非々々!!
“夢みる校長先生”楽しく、結びの作品として有効でしたね。ただ、校長先生がみな男性だったのは!?
女性の校長先生には「夢みる改革」は不可能だから?そもそも女性校長の存在が見当らないから?
◎この貴重な会を支えていらっしゃる方々に、心より敬意を表します。(M.K.)

●1970年のユーゴスラビアの反戦映画、『抵抗の詩』の上映をぜひお願いしたいと思います。
当時中学生だった私は、この映画を見て、映画好きになり、反戦・平和の運動に参加するきっかけになりました。
よろしくお願いします。(K.S.)

●一番「オン・ザ・ロード」を見たくて来ました。金大中の生き様や韓国の人民の闘い等、感動しました。
「夢みる校長先生」面白かったです。自由っていいですね!ひき込もりになりそうな女子生徒卒業生が、「楽しかった事しか覚えていない」と語っていましたが、自分もそんな学校で伸び伸び育ちたかったと思います。とても良い校長先生達がいて、明るい気持ちになりました。(M.F.)

●4つの作品を観ました。とても良かったです。
禁じられた遊び…子供は戦争のぎせいになってかわいそう。夢みる校長先生はとても明るく通快でした。
楽しい学校が増えて欲しいです。(F.T.)

●映画はよかったです。全部。
いろいろ考えさせられました。(T.N.)

資料④ 第81回憲法を考える映画 憲法映画祭2025 (2025/4/29) 参加者感想から (4)

●2回目(昨年に続き)2001年~のベシャワール会会員の
中村哲先生のお影様で皆様の御活動知り新聞報道のみならず
今回はベストセレクションでほぼ満席に近く、内容良
くうれしく存じました。更に若い世代の観客の獲得に周知を
と願っております。大変ありがとうございました。今期共
に期待しております。すべての健康と平和を祈念します。
武蔵野市民なので会場自転車であられて有難いです。改修
でどうなるか心配です。(Y.T.)

●楽しい一日を過ごすことができました。
ありがとうございました。(M.T.)

●本日も、素晴らしい映画を拝見させていただき、ありが
とうございました。渡しいの中に「不屈の男、金大中」の
名が一番心に響きました。思わず何度も泣き、感動致しま
した。来年も楽しみです。(宜しくお願い致します。(M.N.)

●昨年中村医師の映画を見に伺いました。今年、メールで
案内を頂き、ずっと見たいと願っていた「ベアテの贈り
物」があるのを知り、参加しました。
10年程前か、地元で上映会をやっていたが都合がつかず行
けなかったのでネットで探したが上映会しか手段がなく、
一人で見るにはとても高額だったので諦めていました。本
当にありがたく思います。見れて良かった。とても素晴し
いドキュメンタリーでした。女性の先人たちの努力がとて
も理解できました。そのほか、曲やストーリーだけ知って
いた「禁じられた遊び」も見れて、撮影当時は貧しく、戦
争も身近であったこと。
「オンザロード」も昔、修学旅行で行ったものの、好きで
もなく興味もなかった韓国で何が起きているか始めて
知った。あのよう政治家がいたことに驚きがあった。
学校については興味深かったが、コロナ禍でマスクしな
かった学校は少人数校だったので印象操作があるように思
います。その他の点はおもしろかった。(T.N.)

●1年1回の映画祭、いつも楽しみにしてます。(K.N.)

●高校2年頃(17)からずっと「禁じられた遊び」見た
かったので60年の夢がかなって超うれしかった。(Y.M.)

●金大中、光州事件、耳にはしていても実体を知る事がな
かったのですが、映像はその一端を見せてくれます。背景
にはきつと色々な要素が重なって、物事は動くんだらうと
思わされました。武器を持たずに権力を倒すことがなんと
大変な事でしょう！
選挙大事ですね。(T.M.)

●「オンザロード」、とぎれとぎれに韓国の歴史を映画や
本で触れていましたが点が線に繋がった気がしました。こ
こまで自分の信念をつらぬける人が日本にいますか？私？
ダメだろうなあ。
民主主義って簡単に手に入るものではなく、またもろく崩
れ去る可能性があると感じました。作品紹介をして下さり主
催者の選択の考えがわかり理解が深まりました。
夢みる校長先生、最高!!どこも潰されていないなんて素晴
らしい。自分の持ち場でも考えたい。怖れず。(N.Y.)

●なかなか見られない映画をありがとうございました。
(H.Y.)

●「オン・ザ・ロード」のみ見せていただきました。
知らなかったことがたくさんありました。金大中氏、本
当に力強い信念の不屈のすばらしい、すごい人だと知り、
もっと知りたくなりました。よい機会をありがとうございました！
(H.Y.)

●とても良い映画でした。ありがとうございました。
(T.M.)

●「憲法フェスティバル実行委員会」からご案内としてい
ただいた資料の中に、今回のチラシがあり、「夢見る校長
先生」だけ拝見させていただきました。
良い映画を見る機会をいただき、ありがとうございました。
(M.W.)

●ずっと見たくて見るチャンスがなかった「ベアテのおく
りもの」。観られてよかったです。今後も重要な映画を積
極的に観て学び、日々の生活や運動に活かしていきたいと
思いました。(N.W.)

●毎回、視たいと思うと(タイミングよく)上映会を実施
していただいで勉強しています。
昔、楽しみは、一日3本上映が映画を、立って、視た時代
もありました。又学校では映画館まで歩いて行き、教育文
化的な映画をみて育ちました。
小さい頃みたものを、年をかさねてみると、また感じるも
のがあり、映画は生きていくうえではとても大切な楽しみ
になっています。ありがとうございます。
でもなんと言っても、こんな映画が作られていたんだ!!
というものがみられる会なので、いつまでも、視られるよう
、健康に留意して春日まで出かけるようにしたいと思ってい
るところです。本では得られない情報多いので続きますよ
う。(無記名)

●『戦争めし』2018年 59分
『MMRワクチン告発』2016年 91分

●4本も観せて下さり、ありがとうございました。
バランス(取り合わせ)もgoodでした。
小中高、明星学園。校則制服なし。通知表は10段階絶対
評価(全員10もありえる)でした。楽しかったです。(無
記名)

●「禁じられた遊び」以来、見たことがなかったので4つ
全て見させていただきました。バランスのとれた選び方で、
たいへん考えさせられ、楽しませていただきました。あり
がとうございました！(無記名)

●午後から参加しました。どれも夢中になりました。時々
来させていただき、今年は来られて良かったです。前に来
た時は松下市長がすぐ近くに座っていました。工事になり
ますが、別の会場がすぐ見つかるの良いですね。ベアテさ
んからつないで来た憲法の理想をかけ足でも追いかけて
良かったです。「虎に翼」のドラマも思い出します。金
大中、子どものころ事件があり、よく知りませんでした。
大学生になった息子が韓国政治に興味をもったので教えて
あげたいです。
校長先生、保護者たちもよくささえていますね。土知柄も
あると思いますが全国にひろがってほしい。ぜひ地上波テ
レビがやるべきですが…(無記名)

●それぞれに良い映画をありがとうございました。
「憲法を作ったのは世界の英知」
金大中さんの素晴らしさをこのフィルムで教えて頂いたと思
います。日本の政治家にも、知らずにいる素晴らしい政治
家が過去にも今にもいるように思えて来ました。尊敬出来
る政治家に今、日本でも出会いたいと思います。
校長先生も知らずにどこかで子供たち、日本の社会を支
えて下さってる方々がいらっしやることを知り、有難くほっ
としてます。(無記名)

第83回 憲法を考える映画の会

日時：2025年8月11日（月・休）13時半～16時半
会場：文京区民センター 3A会議室

今年は戦後80年、昭和100年、そして安保法制10年目の年です。8月15日の敗戦の日を前に、そうした、戦争の歴史を考える映画のプログラムを今検討、計画しています。

むのたけじ反戦塾 拡大集会

と き：2025年8月30日（土）13時30分～17時
ところ：文京区民センター 3A会議室

この2年間にわたって続けてきた「反戦塾」の議論は、ひとまず10回目で区切ることにしました。現在、そこで話されたことをまとめていこうと準備しています、反戦に向けての冊子を作ろうと準備中です。

さらに、8月30日、むのたけじさんが話す映像や著作をもとに、私たちが今まで話し合ってきた「戦争はいらぬ、戦争をさせぬ世へ」実現に向けてどう動くかを、具体的に、社会に発信していけるように議論する場を作っていきたいと考えています。

講演会やシンポジウムの形にするか、映画・映像を生かしたものにするか、現在検討中です。

*問合せ先：090-4599-5314 武野
〒338-0006 さいたま市中央区八王子4-7-10-201
E-mail:dmuno@jcom.home.ne.jp

「憲法を考える映画の会」の活動紹介（2）

12年間にわたる映画会の活動紹介の2回目は、これまで「憲法を考える映画の会」を続けてきて、気をつけてきたこと（気持ちを込めてきたこと）を少し紹介させていただきます。

■話し合いの場づくりとして映画を活用する

・もともとが会を始めた2013年当時、「安倍政権がめざしているような形で憲法を変えさせないために自分たちに出来ることは何か」そしてとくに「いま進められようとしている『戦争の準備』を止めさせるにはどうしたらよいか」考えたいと始めた会でした。そこで目的はみんなで集まって、映画を見て、それぞれが考えていることを出し合うきっかけになるような会にする言うところにありました。

■映画を一緒に見た後、話し合う

・映画を見た後に、参加者で話し合いの場を持つという形を続けてきました。出来たら、参加者全員に一言ずつでも話してもらおう（参加される人の数も多くなるとそれはなかなか難しくなってきましたが）

・「憲法を考える映画の会」という名前にしたのも、「考える」ことが目的で、ひとりひとりが自分で考える、そして出来たらそれを話してみる。同時に一緒に映画を見た人たちがそれぞれどんなことを考えたかに耳を傾けていくような会にしてみました。

↗

■手元資料を作って考える材料にする

・いろいろ考えていくことが目的なので、考えることこの材料となるような「手元資料」を作るようにしました。その中身は「映画作品の解説」から制作者の紹介、「映画を作ったねらい」などについて、また映画が描いていることの背景や時代性など年表や地図なども加えて出来るだけ、興味深く面白く考えていけるようにしたいと思いました。

・この「手元資料」を作ることで、いろいろ調べることによって学ぶ機会になります。

■誰にでも出来る映画会にする

・「映画を一緒に見て考え、話すこと」こうした映画会が誰でも、あちこちでできるようになるといいなと思っていました。

・「この映画いいな！」「多くの人に見せたい！」と思ったら、誰でも映画会を始めることが出来る、そして続けていける映画会をめざしています。

・そのためには、何より「無理をしない」「楽しんで行う」ことが大切かと思えます。

・上映する作品を選ぶために、スタッフで試写会を出来るだけ行うようにしています。これも映画会を楽しんでつくっていく、そして多くの方が楽しく、映画を通して出会って、話をし、楽しむ機会になればと思っています。

上映会・催し案内

●6/29（日）10時～・14時～ 『映画〇月〇日、区長になる』女。」上映会（埼玉・小手指まちづくりセンター＝西武池袋線小手指駅）

●6/29（日）12時～ 『血の海』抗日武装闘争の最中につくられた演劇の映画化。朝鮮民主主義人民共和国では大切にされている古典的名作。（南大塚地域文化創造館＝大塚駅）

●6/29（日）14時～ 沖縄戦を考える練馬の集い2025－戦後80年 沖縄戦が伝えるもの（練馬区役所＝練馬駅）

●7/4（金）18時20分～ 半田滋さん講演会「日本が再び戦争する」なんてありえない？」（明治学院大学＝白金台駅）

●7/5（木）18時～ ドキュメンタリーを視て語るつどい「川口 クルド人の真相」「ドイツの内なる脅威 躍進する“極右”政党」「兵庫・誹謗中傷を追う」（大阪・大阪市立北区民センター＝扇町駅）

●7/13（日）14時～ 映画「ワタシタチハニンゲンド！」上映会（サンライフ練馬＝西武池袋線中村橋駅）

●7/19（土）14時～ 講演会 東京大空襲における朝鮮人の被害（国分寺本多図書館＝国分寺駅）

●7/27（日）13時～横浜キネマ倶楽部：『さくら隊散る』（終戦80年記念上映会）（横浜市南公会堂＝市営地下鉄「阪東橋駅」）